



S-Stage KIT 取扱説明書

商品番号 : 01-05-5190 (カムシャフト付属)
: 01-05-5192 (カムシャフトレス)
ボア径: 60mm ストローク: 55.2mm
排気量: 156cc
適応車種 : アドレスV125/G
フレーム番号 : CF46A-100001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！使用燃料についてのご注意！

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電部の焼け具合により番数を決定して下さい。

！F.I. コントローラーについての注意！

S-Stage kitのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずF.I. コントローラーをご使用下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やスズキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具などの準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎この製品を取り付けての一般公道の走行は出来ません。
- ◎商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。



注意

下記内容が無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・この製品は競技用の為、一般公道の走行は出来ません。（運転者本人が罰せられる対象になります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

下記内容が無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

○ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
- ◇ネジをゆるめるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
- ◇ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。
- ◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～商 品 内 容～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13101-33G-T00	1
2	ピストンリングセット	1	13011-33G-T00	1
3	ピストンピン	1	13111-GN1-T02	1
4	ピストンピンサークリップ	2	000-02-121	6
5	シリンダー	1	12101-33G-T01	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251-33G-T01	1
7	シリンダーガスケット	1	12191-33G-T00	1
8	カムシャフト	1	01-08-0311	1
9	テンショナーガスケット	1	14523-33G-T00	1
10	ウェイトローラー (15g)	6	02-010-0019	3

※8 カムシャフトは01-05-5192には付属しません。

※リペアパーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませお願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

●取り外し

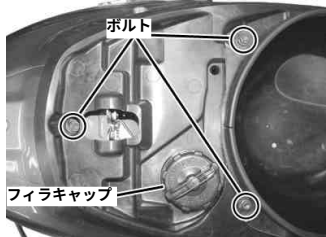
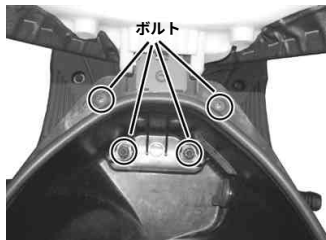
★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。

★取り外したボルトやナットは無くさないようにどの場所を使用するか分かるように保管する。

① ボディーカバーの取り外し

◇メインキーでシートを開け、フィラーキャップ、ボルト7本を取り外しトランクボックスを取り外す。

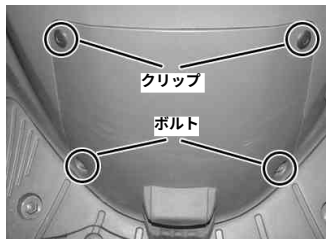
※DCソケット付の車種はカブラを外す。



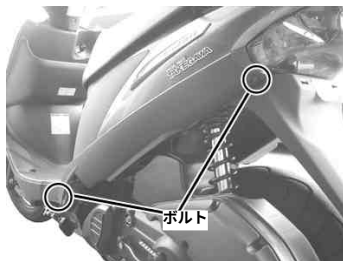
◇フィラーキャップを確実に取り付ける。
◇ボルト6本を外しリヤキャリアを取り外す。



◇ボルト2本、クリップ2本を外しメンテナンススリッドNo.2を取り外す。



◇ボルト4本、クリップ2本を外しリヤコンビネーションランプとフレームカバー／フレームサイドロアカバーを外す。



② インテークパイプ&スロットルボディの取り外し

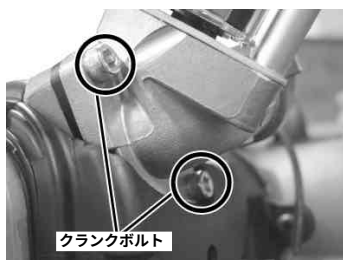
◇クリップを外し、インテークパイプホルカバーを取り外す。



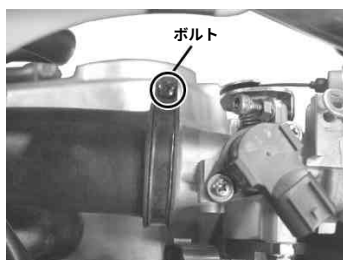
◇スロットルブリーリカバーを取り外す。



◇インテークパイプのクランクボルトを緩める。



◇インテークパイプマウンティングボルトを外し、インテークパイプ&スロットルボディを共に外す。

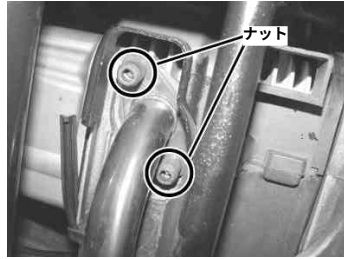


◇外したインテークパイプ&スロットルボディはフレームに結んで固定しておく。

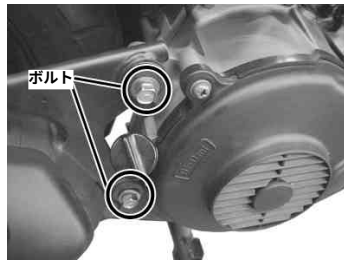


③ エキゾーストパイプの取り外し

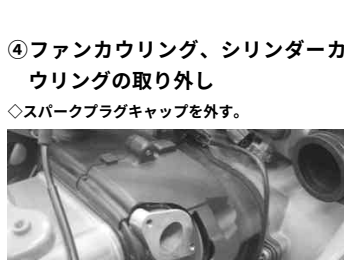
◇エキゾーストパイプナットを2個外す。



◇マフラマウンティングボルトを2本外す。



◇マフラー、およびエキゾーストガスケットを取り外す。

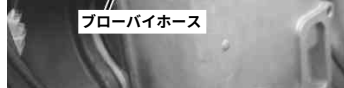


◇スパークプラグキャップを外す。

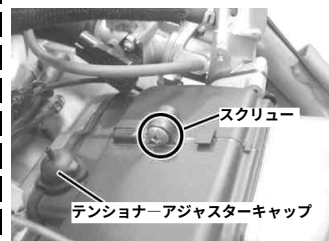


◇エンジン温度センサーカブラを外す。

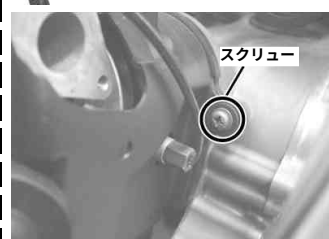
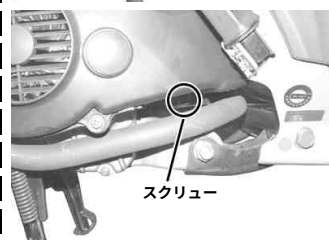
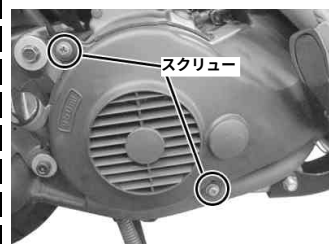
◇ブローバイホースを外す。



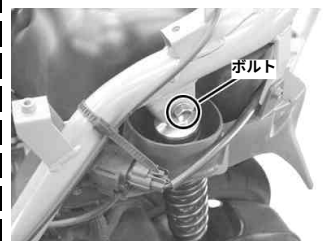
◇テンショナーアジャスターキャップを外す。



◇ファンカウリング側のボルト4本、シリンダーカウリング側のボルト1本を外す。
※ファンカウリング、シリンダーカウリングはまだ取り外せません。



◇リヤショックアブソーバーのアップマウンティングボルトを外し、車体後部を持ち上げる。



◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からファンカウリングを下側に、シリンダーカウリングを上側から引き抜く。
(エンジン温度センサーカブラに注意する事)



ファンカウリング



シリンダーカウリング

◇リヤショックアブソーバーのアップアマウントボルトを仮締めしておく。
◇エンジン温度センサー、スパークプラグを取り外す。

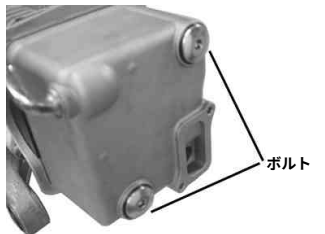


エンジン温度センサー

スパークプラグ

⑤ シリンダーヘッドカバーの取り外し

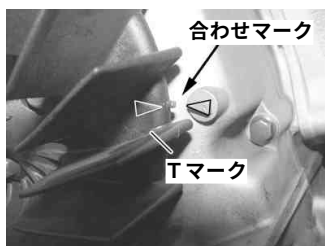
◇シリンダーヘッドボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。



ボルト

⑥ カムスプロケットの取り外し

◇クーリングファンナットを回しクーリングファン外周部の合わせマーク(△印)とマグネットカバーのTマーク(△印)を合わせる。また、カムチェーンスプロケットのケガキ線とシリンダーヘッド上面を合わせてピストンを圧縮上死点にする。
★この時カム山が燃焼室の方を向いていなければクーリングファンを更に一周回し圧縮上死点にする。



合わせマーク

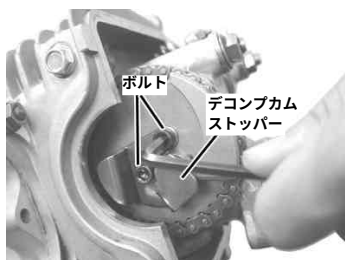
Tマーク

◇カムチェーンテンショナーアジャスターのスクリューを細いマイナスドライバーで右回転に一杯まで回しプッシュロッドを縮ませた状態でロックさせ、カムチェーンテンショナーアジャスター、ガスケットを取り外す。



ボルト

◇クーリングファンナットをレンチ等で回り止めし、ボルト2本を外す。
◇カムシャフトのデコンプカムストッパー、デコンプアーム、リターンスプリング、及び樹脂ワッシャを取り外す。



ボルト

デコンプカムストッパー

リターンスプリング

樹脂ワッシャ

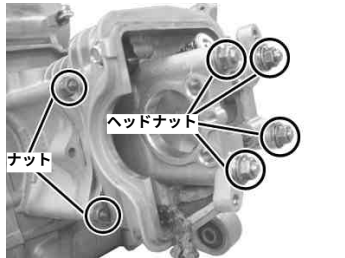
デコンプアーム

◇カムシャフトスプロケットを取り外す。
★カムチェーンをクランクケース内に落とし込まない様に注意して下さい。



⑦ シリンダーヘッドの取り外し

◇先にシリンダーヘッドサイドナット2個を外し、シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、外す。



ヘッドナット

ナット

※写真の形のヘッド、シリンダーの場合はサイドナットを計3個外す。



ナット

◇ワッシャ4枚を外し、シリンダーヘッドを取り外す。

★シリンダーヘッドを取り外す際は両サイドを持って垂直に上げて下さい。また外れ難い場合はプラスチックハンマで軽くショックを与えシリンダーヘッドを浮かせます。

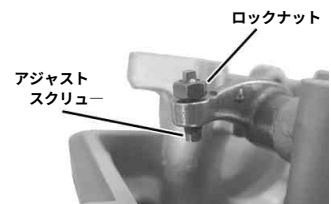
◇ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットを取り外す。

★ノックピン2個は再利用します。



⑧ カムシャフトの取り外し

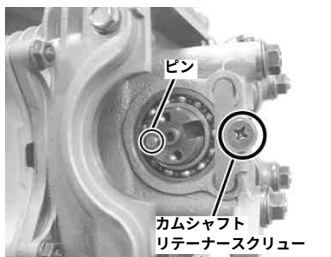
◇ロッカーアームのロックナットを緩め、アジャストスクリューを緩める。



ロックナット

アジャストスクリュー

◇カムシャフトのカムスプロケット取り付け面にあるピンを抜く。
※このピンは再使用するので無くさない事。



ピン

カムシャフトリテーナースクリュー

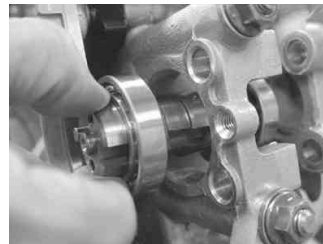
◇カムシャフトリテーナースクリューを外しカムシャフトリテーナーを外す。

◇ロッカーアームシャフト2本を引き抜き、ロッカーアームを外す。

※ロッカーアームシャフトが外れにくい場合は、ネジ径8mm、ピッチ1.25のボルトをねじ込んで引き抜く。



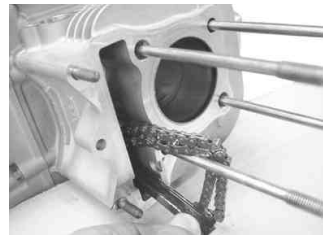
◇カムシャフトを取り外す。



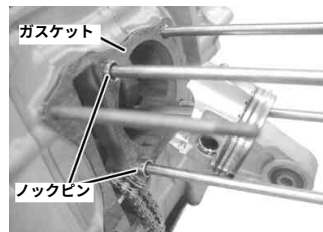
⑨ シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを上引き抜き、シリンダーを外す。

★シリンダーを取り外す際は両サイドを持って垂直に上げて下さい。また外れ難い場合はプラスチックハンマで軽くショックを与えシリンダーヘッドを浮かせます。



◇ノックピン2個とガスケットを取り外します。
★ノックピン2個は再利用します。



ガスケット

ノックピン

◇シリンダーが外れた後はクランクケース内にゴミが入らないようにきれいなウェス等をシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。



◇ガスケットがクランクケースに残った場合はスクレーパーやカッターナイフできれいに取り除いておく事。

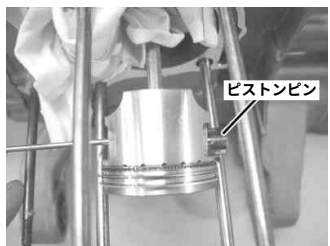
★クランクケースにキズを付けない様に注意して下さい。

⑩ピストンの取り外し

- ◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れやすい。



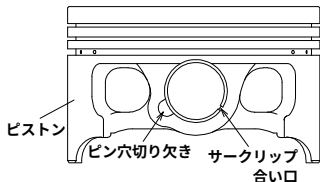
- ◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押し出し、ピストンを取り外す。



●S-Stage KITの取り付け

①ピストンの取り付け

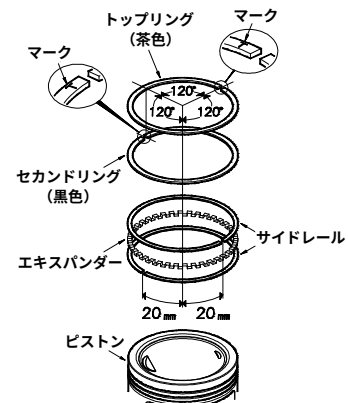
- ◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。



- ※取り付け中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付ける事。



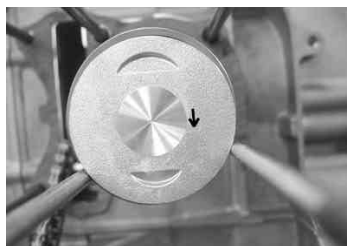
- ◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。
エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



- ◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。



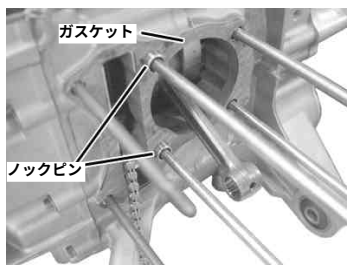
- ◇ピストン頂点のマークが下(排気側)を向くようにコンロッドに取り付ける。



- ◇付属のピストンピンサークリップをもう片側のピン穴に取り付ける。

②シリンダーの取り付け

- ◇クランクケースに詰めていたウエスを外す。
- ◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのカムスプロケットから外れていないか確認する。
- ◇クランクケースとシリンダーの合わせ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。
- ◇ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。



- ◇シリンダーの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。



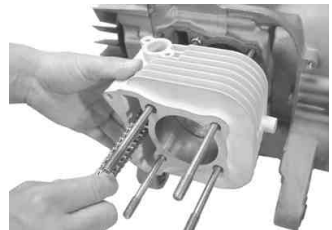
- ◇ピストン全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。



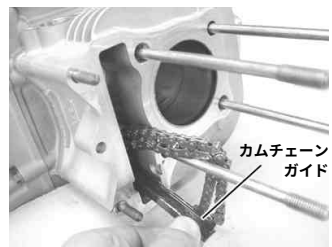
- ◇ピストンリングを指で少しずつピストンの溝にはめながらシリンダーにピストンを入れる。



- ◇ピストンがシリンダーにはまったらカムチェーンをシリンダーのカムチェーンホールに通す。

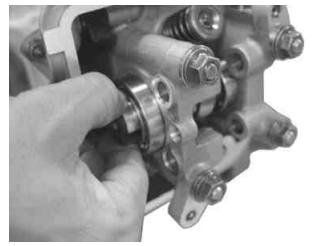


- ◇シリンダーをクランクケースにはめ込みカムチェーンガイドを組付ける。

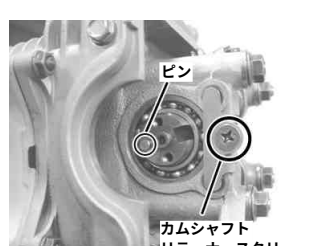


③カムシャフトの取り付け

- ◇付属のカムシャフトのカム山部にきれいなエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付ける。
- ◇ノーマルカムシャフトに取り付けられていたピンを取り付ける。

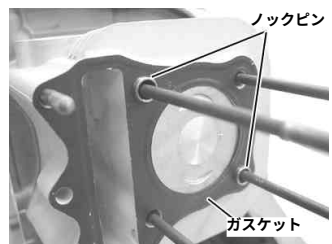


- ◇ロッカーアームシャフトにきれいなエンジンオイルを塗布し、ロッカーアームを取り付ける。
- ◇ロッカーアームシャフトのネジ部をカムチェーン側に向く様に取り付ける。
- ◇カムシャフトリテーナを取り付けカムシャフトリテーナスクリューを締め付ける。
規定トルク：1.0 N・m
(1.0 kgf・m)

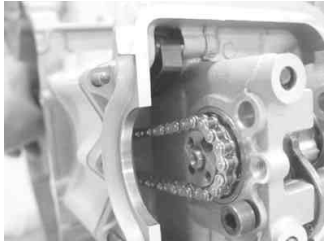


④シリンダーヘッドの取り付け

- ◇シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。
- ◇付属のシリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り付ける。

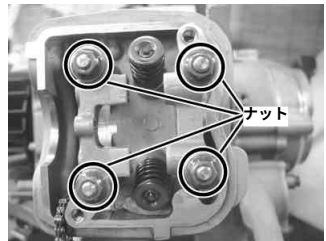


◇カムチェーンをシリンダーヘッドのカムチェーンホールに通しながらシリンダーヘッドを取り付ける。



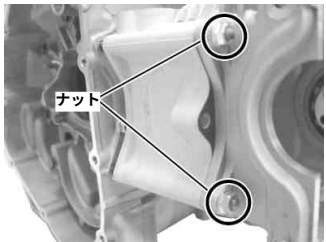
◇ワッシャを4枚取り付け、きれいなエンジンオイルと塗布したシリンダーヘッドナット4個を対角線上になるように数回に分けて締め付ける。

規定トルク：25 N・m
(2.5 kgf・m)



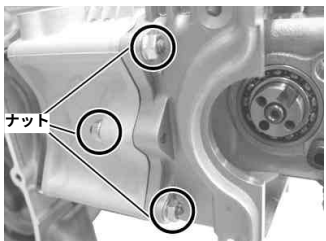
◇シリンダーヘッドサイドナット2個にきれいなエンジンオイルを塗布し、規定トルクで締め付ける。

規定トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)



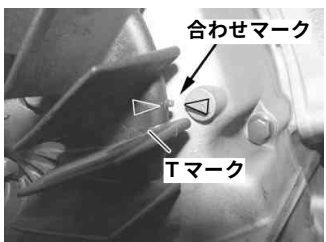
※写真の形のヘッドの場合は3個のシリンダーヘッドサイドナットを規定トルクで締め付ける。

規定トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)



⑤カムシャフトスプロケットの取り付け

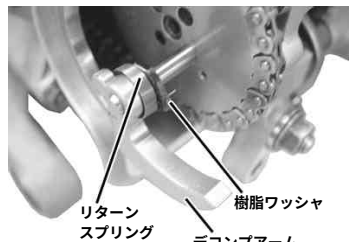
◇カムチェーンを手で保持しながらクーリングファンを時計回りに回転させ、クーリングファンの△印とマグネトローターカバーの△印を合わせる。



◇カムシャフトのカム山を燃焼室側に向ける。
◇カムシャフトスプロケットのケガキ線をシリンダーヘッドカバーの合わせ面に平行にし、カムシャフトスプロケットの各穴位置が写真と同じになるようにカムシャフトスプロケットにカムチェーンを取り付ける。カムシャフトスプロケットをカムシャフトにはめ込む。

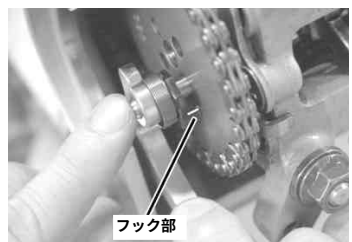


◇デコンプアームにリターンズプリングおよび樹脂ワッシャを組み付ける。



◇デコンプアームをカムシャフトスプロケットに組み付ける。

※リターンズプリングのフック部をカムシャフトスプロケットの穴に入れて組み付ける事。



◇デコンプアームを時計回りに図の位置まで回転させる。

※リターンズプリングのフック部が写真の位置にあるか確認する事。



◇クーリングファンナットをレンチ等で回り止める。

◇デコンプアームストップの穴をカムシャフトスプロケットの穴とカムシャフトのネジ穴に合わせ、ボルト2本を締め付ける。

※ボルト2本はきれいに洗浄してから締め付ける事。またネジロック剤の使用を推奨します。

規定トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



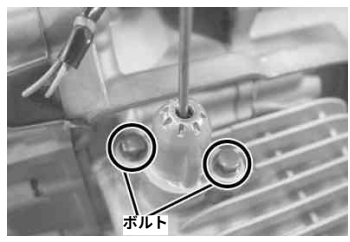
⑥カムチェーンテンショナーアジャスターの取り付け

◇細いマイナスドライバーでカムチェーンテンショナーアジャスターのスクリューを時計方向に回転させてプッシュロッドを一杯まで縮めてロックさせる。



◇キット付属のガスケット、およびカムチェーンテンショナーアジャスターをシリンダーに取り付けカムチェーンテンショナーアジャスターボルト2本を規定トルクで締め付ける。

規定トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



◇細いマイナスドライバーでカムチェーンテンショナーアジャスターのスクリューを半時計方向に回転させてプッシュロッドを戻す。

⑦バルブクリアランスの調整

◇クーリングファンを時計回りに回転させクーリングファンの△印とマグネトローターカバーの△印を合わせる。

★この時カム山が燃焼室の方を向いていなければクーリングファンを更に一周回し圧縮上死点にする。

※必ず圧縮上死点の位置でバルブクリアランスの調整をして下さい。

◇アジャストスクリューとバルブステムの間にIN 0.05～0.10mm、EX 0.10～0.15mmのシクネスゲージを差し込み、引き抜く時に少し抵抗があるくらいの位置でアジャストスクリューを固定したままロックナットを締め付ける。

※アジャストスクリューの調整の際は、スズキ純正の特殊工具、タベットアジャスタドライバー(09917-10410)の使用を推奨します。

規定トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



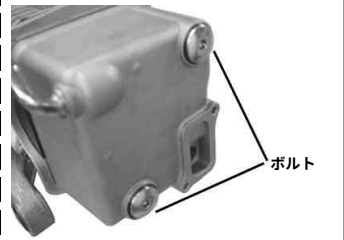
◇ファンを時計方向に2回転させバルブクリアランスを再確認する。クリアランスが変化している場合はクリアランスが規定値になるまで繰り返す。

⑧シリンダーヘッドカバーの取り付け

◇シリンダーヘッドカバーにシールガスケットを取り付ける。

◇シリンダーヘッドカバーボルトを締め付ける。

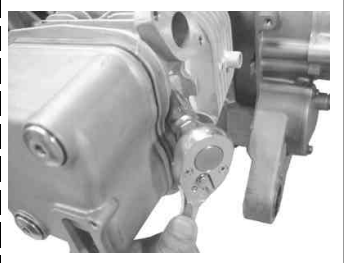
規定トルク：14 N・m
(1.4 kgf・m)



⑨スパークプラグの取り付け

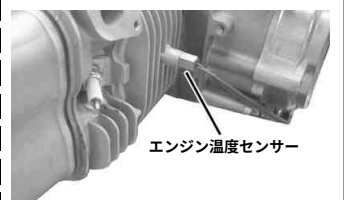
◇スパークプラグをまず手で締め込む。プラグレンチを用いて締める。

規定トルク：10 N・m
(1.0 kgf・m)



⑩シユラウドの取り付け

◇エンジン温度センサーを取り付ける。

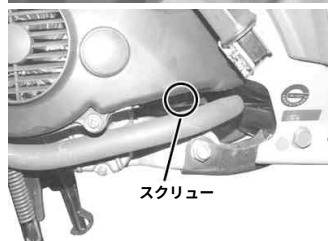
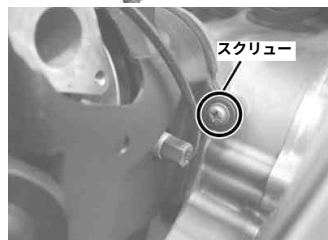
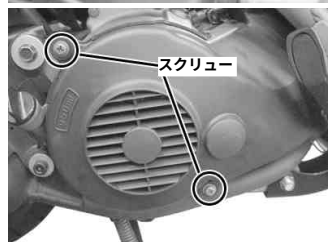
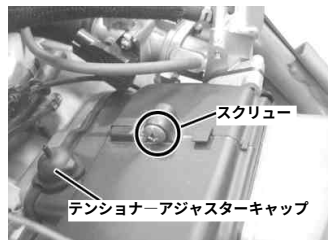


◇リヤショックアブソーバーのアップアマウントボルトを外し、車体後部を持ち上げる。



◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からシリンダーカウリング、ファンカウリングを入れ、シリンダーカウルをボルト1本、ファンカウリングをボルト4本で取り付け。

※シリンダーのフィンにモールを確実にはめ込むこと。



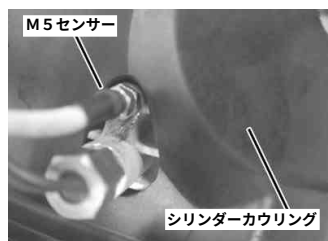
◇リヤショックのアップアマウントボルトを締める。

規定トルク：29 N・m (2.9 kgf・m)

◇カムチェーンテンションアジャスタのキャップを取り付ける。

規定トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)

※当社製M5センサー(07-04-0552)を使用される方はシュラウドのエンジン温度センサーが通る穴を拡大して下さい。



◇シリンダーヘッドカバーにブローパイホースを繋ぐ。



◇スパークプラグキャップを取り付ける。



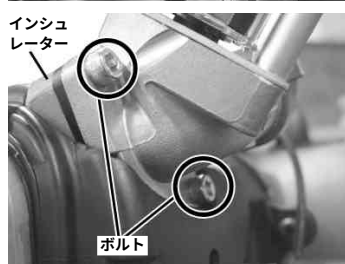
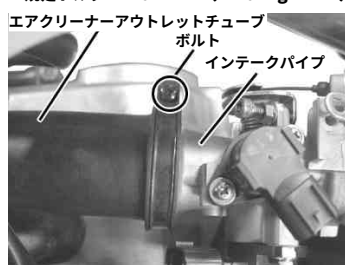
⑪ インテークパイプ&スロットルボディの取り付け

◇インテークパイプをエアクリーナーアウトレットチューブに差し込む。

◇インテークパイプとインシュレーター、インシュレーターとシリンダーヘッドの間にOリングをセットしインテークパイプマウンティングボルトを締め付ける。

◇エアクリーナーアウトレットチューブのクランプボルトを締め付ける。

規定トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



◇インテークパイプホルルカバーをクリップで取り付け。

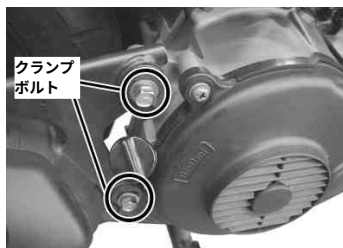


⑫ エキゾーストパイプの取り付け

◇エキゾーストパイプガasketを取り付ける。

◇シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストパイプのフランジを差し込み、位置を合わせる。

◇エキゾーストパイプのフランジ側をエキゾーストパイプナット2個、マフラスター部をマフランプボルト2個で仮止める。

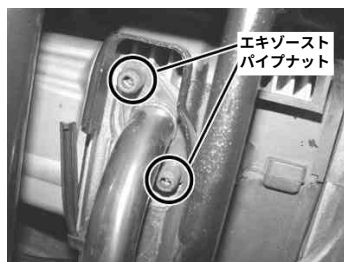


◇先にエキゾーストパイプナット2個を規定トルクで締め、次にマフランプボルト2個を規定トルクで締める。

規定トルク

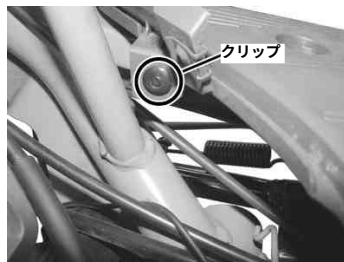
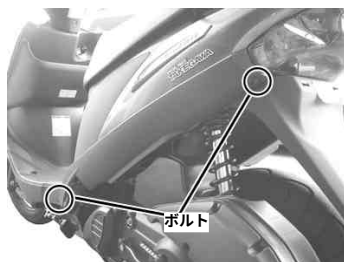
エキゾーストパイプナット
23 N・m (2.3 kgf・m)

マフランプボルト
23 N・m (2.3 kgf・m)

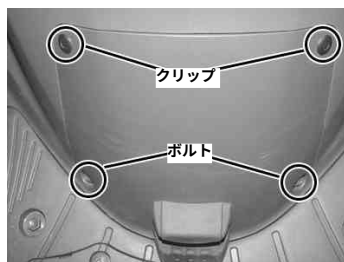


⑬ ボディーカバーの取り付け

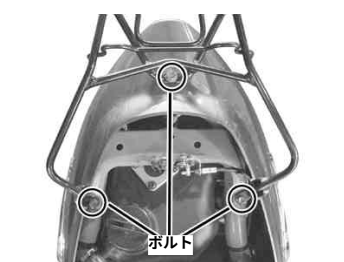
◇フレームカバー/フレームサイドロアカバーとリヤコンビネーションランプをボルト4本、クリップ2本で取り付け。



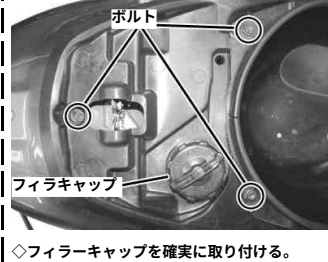
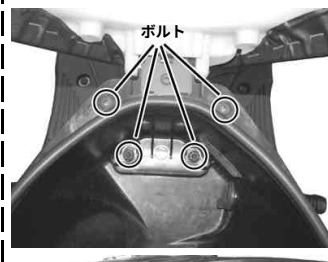
◇メンテナンスリッドNo.2をボルトに2本、クリップ2本で取り付け。



◇リヤキャリアをボルト3本で取り付け。



◇フィルターキャップを取り外しトランクボックスをボルト7本で取り付け。DCソケット付の車種はDCソケットにカブラを取り付ける。

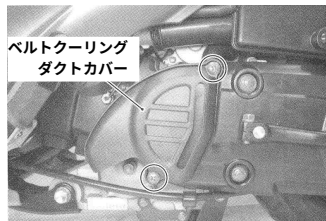


◇フィルターキャップを確実に取り付け。

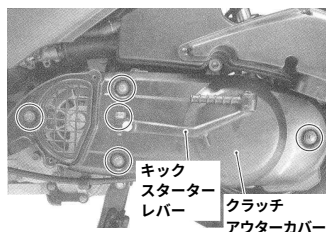
～ウエイトローラー の交換～

※ハイギアキット(02-04-6012)
を取り付けられる方はハイギアキットの
説明書も参照し、同時に作業を行なっ
て下さい。

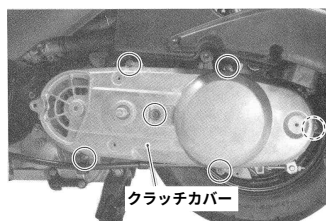
◇タッピングビスを取り外し、ベルトクーリ
ングダクトカバーを取り外します。



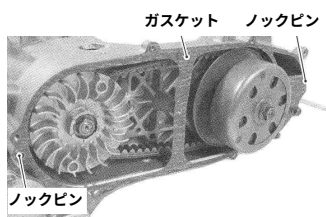
◇キックスターレバーを取り外します。
トルク: $1.3 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
クラッチアウターボルトを取り外し、クラ
ッチアウターカバーを取り外します。
トルク: $8 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($0.8 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



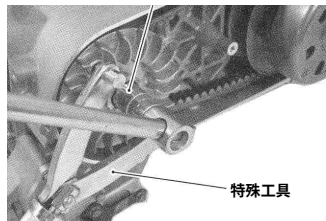
◇クラッチカバーボルトを取り外し、クラ
ッチカバーを取り外します。
トルク: $1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



◇ガスケットとノックピンを取り外します。

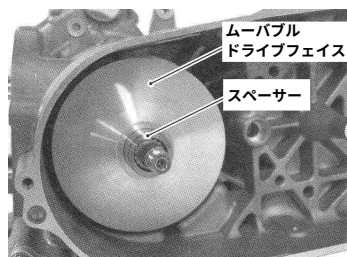


◇特殊工具を使用してフィクストドライ
ブフェースナットを取り外します。
トルク: $5.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($5.0 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)
フィクストドライブフェースナット



<特殊工具>ユニバーサルホルダー
: 00-01-1002

◇スペーサーとムーバブルドライブフェイスを外
し、ウエイトローラーをキット内のウエイトロ
ーラー15g 6個と取り替えます。



※ムーバブルドライブフェイスとスペーサーには油
脂類が付着しない様に注意して下さい。又、付着
した場合は必ず脱脂して下さい。

◇以上の取り外し作業の逆手順にて、取り付けて下
さい。

※各項目に記載されている規定トルクを守り、確実
に作業を行なって下さい。

◇F.I.コントローラーの取り付け要領に従いF.
I.コントローラーを取り付けます。

※各項目に記載されている注意事項を守り、確実
に作業を行なって下さい。

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合
は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

②F.I.コントローラーについて

必ずF.I.コントローラーを取り付けてからエン
ジンを始動して下さい。F.I.コントローラーを取り
付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエ
ンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

③各部の点検

- ◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確
認する。
- ◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下
さい。
- ◇風通しが良く、安全な場所で充分注意してエン
ジンを始動し暖機運転させる。
- ◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオ
イルもれが無い点検する。
- ◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、
ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。
- ◇この製品を組み込む事によりパワーアップされた
エンジンは各部の消耗が激しくなりますので必ず
定期的にメンテナンスを行なって下さい。
- ◇ウエイトローラーは消耗品です。定期的に点検
し、磨耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換
して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>